

昭和10年、今から80年前
のことです。



植柳小学校は麦島小学校といっしょになり、新しい校舎ができました。木造2階建て、真ん中にとんがり屋根があり、講堂や栽柳園とよく調和した美しい校舎でした。



このときの校長先生が白木先生です。
白木先生は、新生植柳小学校にふさわしい校
歌を作ろうと考えました。



世の中の流れに左右されず、
いつまでも歌いつがれる校歌、
師弟同行の校風を入れた校歌
をつくりたい。そのために作
詞作曲は、北原白秋、山田耕
作の二人にたのもう。



山田耕筰



北原白秋

こうして作曲は山田耕筰さん、作詞は北原白秋さんをお願いすることになりました。この二人は当時最も有名な作詞作曲家でした。



しかしこの二人に、校歌をたのむと、なんと600円
(今では120万円くらい)もかかってしまいます。こ
んな大金はありません。



そこで、植柳村の村長さんたちから、なんとか**300円**(60万円くらい)を集め、その金額でお願いすると、引き受けてもらえることになりました。



植柳小を一度も見たことのない北原白秋さんには、栽柳園や池、球磨川や山の写真を何十枚も送り、作詞してもらいました。

北原白秋先生作詩
山田耕作先生自筆楽譜
昭和十年九月二日作曲
校歌

永久保存
八知市植柳小学校用

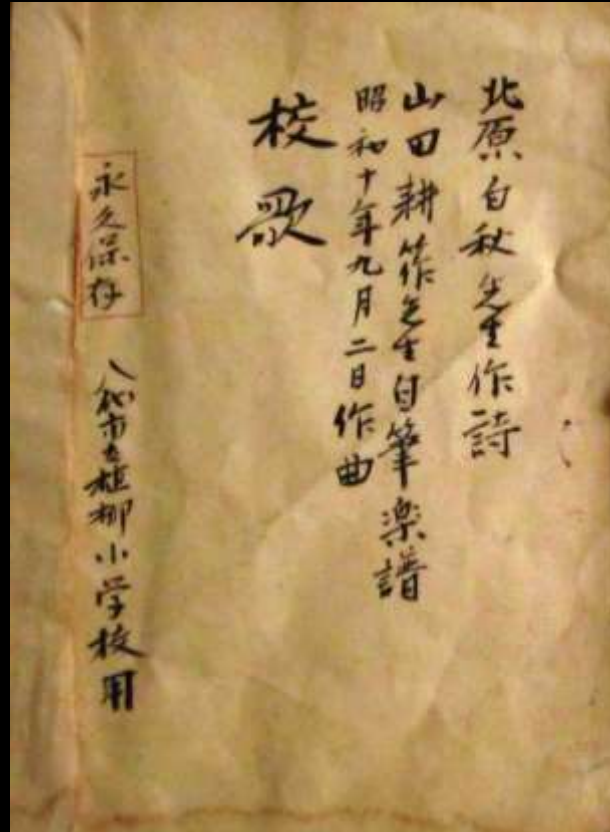
植柳小学校校歌

The image shows a handwritten musical score on aged paper. At the top, the title '植柳小学校校歌' (Shirayuki Elementary School School Song) is written in cursive. Below the title, there are several staves of music. The first staff contains the title and the composer's name '北原白秋'. The subsequent staves show the musical notation, including a key signature of one sharp (F#) and a 2/4 time signature. The score is written in ink and includes various musical symbols such as notes, rests, and bar lines.

こうして「噴きたつ雲のひかり」で始まる植柳小学校の校歌ができたのです。檜の木を「巖櫃」とよんだのも、北原白秋さんでした。



植柳小学校の校歌は白木校長先生の願いどおり、時代が変わっても80年間歌いつがれてきました。「師とともに道に生きむ」には、白木先生の熱い思いが込められています。



植柳小学校の校歌は、学校の宝です。

これからも大切に歌いついでいきたいものです。

